

富士フィルムグループ健康保険組合



<その他>

2022.03.09

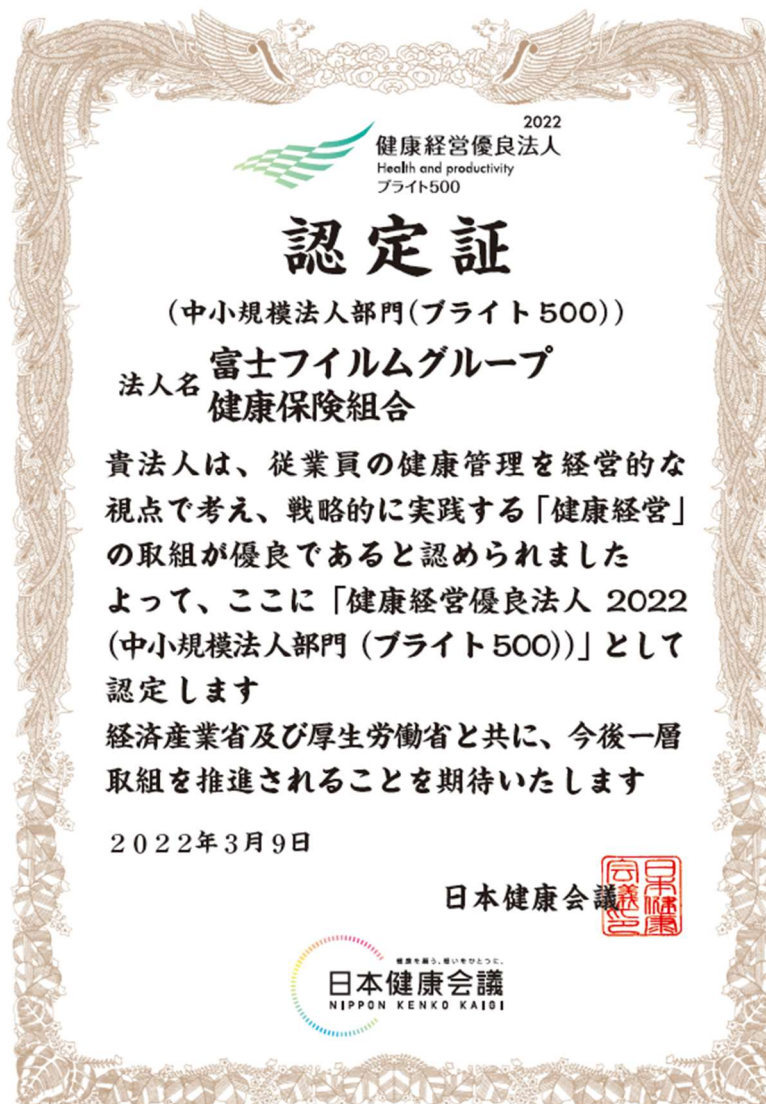
<健康経営優良法人 中小企業部門 2年連続でブライツ500に認定>

富士フィルムグループ健康保険組合は、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している企業として、2022年3月9日に健康経営優良法人(経産省)に認定されましたので、お知らせいたします。

健康経営優良法人は、2019年度から認定されていますが、2022年度は2021年度に新設された上位500法人であるブライツ500に2年連続で認定を頂きました。

経済産業省ホームページ

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html



2022.01.26



<スポーツエールカンパニー2022(スポーツ庁)に認定>

富士フィルムグループ健康保険組合(以下:FFG 健保)は、従業員の健康増進のためにスポーツ活動の支援や健康増進に向けた積極的な取り組みを実施している企業として、2022年1月26日にスポーツエールカンパニー2021(スポーツ庁)に2年連続で認定されましたので、お知らせいたします。

スポーツ庁のスポーツエールカンパニー2022 発表については詳細は以下をご覧ください

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00095.html

<概要>

FFG 健保は、「生きがいを感じられる明るい未来のある社会の実現」を目指し、職員とその家族、そして、富士フィルムグループ内の事業所・FFG 健保の加入者・地域・社会の人々の健康を願い、それに貢献するために健康経営を通じ各種の活動を展開しています。

具体的な取り組みとしては、「週に1度の全参加のストレッチ」、「1日8000歩ウォーキング」、「バランスボールでのデスクワーク」等の日常生活の中で楽しみながらできる運動を進めています。

<スポーツエールカンパニーとは>

従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業を「スポーツエールカンパニー」としてスポーツ庁が認定する制度です。

令和元年度にスポーツ庁が実施した世論調査において、成人の週1回以上のスポーツ実施率は53.6%という結果が出ています。しかし、20代～50代の「働き盛り世代」では、全体の平均よりも低くなっています。

朝や昼休みなどに体操・ストレッチをするなどの運動機会の提供や、階段の利用や徒歩・自転車通勤の奨励、あるいはスタンディングミーティングの実施など、スポーツ競技に限らず、社員の健康増進のためスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業を認定しています。

本制度により、社員がスポーツに親しめる環境づくりを進める企業の社会的評価が向上することで、「働き盛り世代」をはじめとして、国民全体のスポーツ実施率の向上につなげていくことを目的としています。

(スポーツ庁 HP より抜粋)

スポーツ庁ホームページ

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1399048.htm

以上